

平成 31 年 2 月 20 日

長崎国際大学  
学長 中島 憲一郎 様長崎国際大学  
薬学研究科長 榊原 隆三 印

## 博士學位請求論文審査報告書および最終試験結果報告書

研究科名	薬学研究科	専攻名	医療薬学専攻
学籍番号	1531D02	氏名	高田 誠
論文題目	薬物相互作用解明を志向した関節リウマチ治療薬の分析に関する研究		
学位論文概要と意義			
<p>本研究は関節リウマチの治療において併用される薬剤の薬物相互作用の確認に利用可能な迅速かつ簡便な HPLC 定量法の開発が目的である。関節リウマチ治療薬として代表的なメトトレキサートと併用される NSAIDs を測定対象物として、HPLC 同時定量法の開発が行われた。ヒト血清へ適用したところ、回収率・再現性ともに良好な結果が得られた (第 1 章)。さらに、トシリズマブ自然蛍光を利用した HPLC を用いた迅速かつ簡便な血中濃度測定法の開発を行い、血清中のトシリズマブ濃度の定量を行った (第 2 章)。</p> <p>以上の結果より、今回開発した血清中メトトレキサートと NSAIDs の同時定量法及びトシリズマブの血中濃度測定法は、関節リウマチ治療における相互作用を解釈する上でも有用な方法であると考えられる。今後、これらの研究結果を臨床応用することで、関節リウマチの薬物相互作用解明が大いに進展することが期待できると考える。</p>			
判 定			
<p>〔論文審査の結果の要旨〕</p> <p>「予備審査委員会」委員は、1 月 10 日～1 月 30 日の期間に個別の予備審査を実施し、本論文の加筆・修正を一部行った。「本審査委員会」は、2 月 12 日に公開発表会を開催し、博士論文発表 (30 分) および質疑応答 (25 分) を行い、論文内容および発表態度は良好であったと判断した。引き続き、「本審査委員会」委員は、個別に口頭試問等を行うとともに論文の加筆・修正をさらに指導した。「本審査委員会」の審査結果 (合格) を受けて、平成 30 年度第 11 回大学院薬学研究科教授会において、本博士学位請求論文の合格の可・否について投票した結果、可となった。尚、本論文の内容の一部は、査読がある英文誌に 1 報が受理されており、学位修得のための要件は満たしている。</p> <p>〔最終試験の結果〕</p> <p>博士学位請求論文審査および最終試験の結果、<u>合格</u> と判断した。</p>			

※下線部に合格または不合格と記入して下さい。